

# PVDR200

1うね1条(同時2条) 植え・1うね2条植え



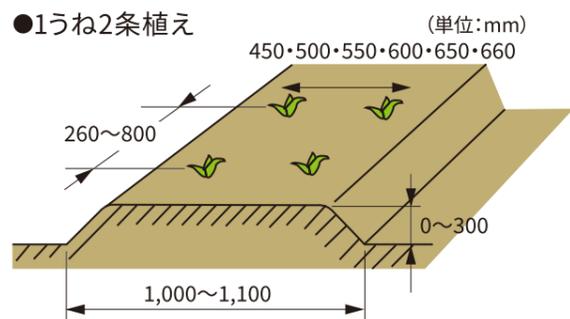
## ■ 主要諸元

販売型式		PVDR200	PVDR200-RS		
機体寸法	全長	(mm)	3,160		
	全幅	(mm)	1,835 (予備苗台収納時1,725)		
	全高	(mm)	1,925 (予備苗台収納時2,225)		
質量		(kg)	653	610	
エンジン	種類	空冷4サイクルガソリンエンジン GB400			
	総排気量	(L{cc})	0.391{391}		
	定格出力	(KW){PS/rpm}	5.8{7.9}/3,000		
	燃料タンク	(L)	12		
走行部	車輪	前輪	(mm)	ノーパンクタイヤ φ600×90	
		後輪	(mm)	φ850×190 φ850×90 (ノーパンクタイヤ)	
	トレッド	前輪	(mm)	1,200・1,270	
		後輪	(mm)	1,200・1,300・1,320 1,200・1,270・1,320	
	変速段数	(段)	前進2、後進1 (HMT)		
	走行速度	前進1	(m/s)	0~0.55	
		前進2	(m/s)	0~2.50	
後進		(m/s)	0~0.81		
掘取部	植付条数	2			
	植付条間	(mm)	450・500・550・600・650・660 (6段階)		
	植付株間	(mm)	260~800 (レバーS: 260~500、レバーL: 430~800)		
	昇降制御	油圧自動追従式			
	適応うね高さ	(mm)	0~300		
	苗搭載枚数	(枚)	16 (苗のせ台: 4 予備苗台: 12)		
適応作物		キャベツ・ハクサイ・ブロッコリー			
適応トレイ (農水省規格)		30角128穴、25角200穴			
作業能率 (計算値)		(時/10a)	0.5~0.9		

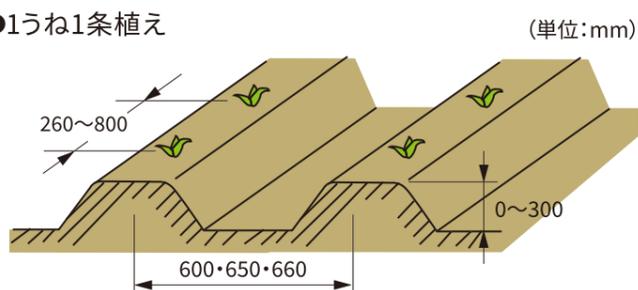
※農水省規格トレイ(中セキ純正トレイ)以外のトレイは、植付作業に支障をきたす場合があります。

## ■ うね形状

### ●1うね2条植え



### ●1うね1条植え



※2うね整形機でのうね立てを推奨します。

### +

- 安全は私たちの願いです。
- 製品のお取扱いに当たっては製品に添付されている「取扱説明書」をご熟読のうえ、安全に注意してご使用ください。
  - ヘルメットは必ず着用し、作業に適した服装で安全確保を心掛けましょう。●事故や故障を未然に防ぐため、点検整備を必ずおこなってください。
  - 無理な運転は商品の寿命を縮め、事故や故障の原因となることがあります。

ごはんを食べていい一日  
天切にしたい日本の味.....あま

**ISEKI**  
井関農機株式会社

〒116-8541 東京都荒川区西日暮里5丁目3番14号  
http://www.iseki.co.jp  
7082-900-2927-0  
2026年2月作成

製品についてのご相談・ご意見は下記の取扱店までご連絡ください。

担当者



「歩く作業」から「乗る作業」へ!

# 歩行型に比べ、約2倍の高能率で 大幅な省力化を実現。

作業はトレイを補給するだけの乗用全自動で、規模拡大・コスト低減に貢献。  
走行は乗用車感覚の丸ハンドルとペダル変速でスムーズ操作。  
一度乗ったら手放せない乗用全自動野菜移植機です。

国内3次排ガス自主規制対応エンジン搭載

PVDR200  
PVDR200-RS (狭幅タイヤ仕様)

1うね1条(同時2条)植え/  
1うね2条植え

植付け速度 0.55m/s の  
高速作業

キャベツ、ブロッコリー等  
での植付けは、最高0.55  
m/sで高速作業が可能です。

RS仕様

後輪が車輪幅90mmのため、狭いうね溝幅  
でもうねを崩しません。



## 移植作業を大幅に効率化。

使いやすくなった新機構!

■ 条間は6通りから選択可能

条間は45~66cmまで6段階で調整が可能です。  
条間変更は機体後方のボルトのつけ外しで簡単  
におこなえます。

45 cm	50 cm	55 cm	60 cm	65 cm	66 cm
----------	----------	----------	----------	----------	----------



使いやすくなった新機構!

■ 安定した植付けを実現

- 苗取りを安定させる苗押さえ棒を追加：  
葉の垂れ下がりを押さえ、苗取りを安定させます。
- 苗取り部機構の改善で植付け精度が向上：  
苗の取り位置がずれにくい苗取爪を採用しています。



苗押さえ棒



苗取り部

■ セルトレイをセットするだけで  
簡単全自動同時2条植え

歩行型全自動野菜移植機の約2倍の高能率作  
業でキレイに植付けができます。  
しかも乗用型なので作業者の疲労も大幅に軽  
減されます。



■ 連続作業で能率アップ

苗つぎ回数を少なくするため、セルトレイ  
は苗のせ台に4枚、予備苗台に12枚の合計  
16枚積載できます。

※空トレイは、予備苗台を折りたたむことで収納可能です。

最大28枚  
標準:16枚

(予備苗台12枚+苗のせ台4枚)

オプション:  
予備苗台12枚



センサー

センサーが苗つぎのタイミングを  
感知し、警報ブザーでお知らせ。  
トレイのセット忘れによる欠株の心  
配がありません。

# 簡単操作に安心感をプラス。



PVDR200-RSでの作業

\*作業写真と商品は異なる場合があります。

最適速度をそのままキープ。低速時でもペダルの踏み込み調節が不要。

## ■ 速度固定機構

最適速度をそのままキープ。作業時にペダルを踏み続ける必要がなく、作業が楽になり疲れを低減します。



## ■ 速度設定機能

ペダルをいっぱい踏み込んだときの最高速度の上限を3段階で設定できるので、ペダルでの微調整が不要です。



速度設定レバー位置	使用する場面
高	・通常の植付作業 ・移動時(植付クラッチを切ると、速度が2倍になる)
中	・旋回スペースの狭いほ場等での植付作業 (植付クラッチを切ると、少し速度が上がる)
低	・ゆっくり状態を見ながらの植付作業 ・ほ場の出入りやトラックへの積み・降ろし

両手はハンドル操作、足はペダル、前を向いたまま作業に集中。

## ■ ペダル変速e-move

ペダルの踏み具合だけで発進・停止・加減速ができるので、両手でハンドルを握り、前を向いたまま安心して作業ができます。

## ■ クラッチ・ブレーキ連動

ペダルでクラッチ・ブレーキが連動して作動。苗つぎ時の煩雑な操作がありません。

## ■ 車速を変えても株間は一定

植付機構と車速が連動しているため、車速が変わっても株間の間隔は一定に保つことができます。



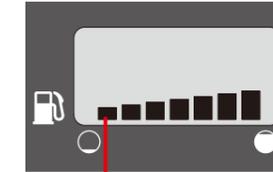
使用時間や燃料残量を確認できる。

ハンドルコラムの液晶パネルに、燃料の残量がひと目でわかる燃料計とアワーメータを表示します。



## ① 燃料計

燃料の補給時期がわかり、作業中の燃料切れを防ぐことができます。



燃料の残量が少なくなると、左端のバーが点滅。

## ② アワーメータ

定期点検の時期を把握でき、適切なメンテナンスを行うことができます。



積算使用時間(エンジン稼働時間)を、1/10時間まで表示(0.1時間は6分)。

旋回がラク。

## ■ 植付昇降レバー

旋回時は、植付操作と昇降操作がワンレバーで簡単に行えます。



トレイに合わせて  
ノンツールで簡単切り替え。

## ■ 横送り切替レバー・縦送り切替レバー

セルトレイに合わせて、横送り・縦送り切替えがワンタッチ、ノンツールで行えます。



横送り切替レバー



縦送り切替レバー

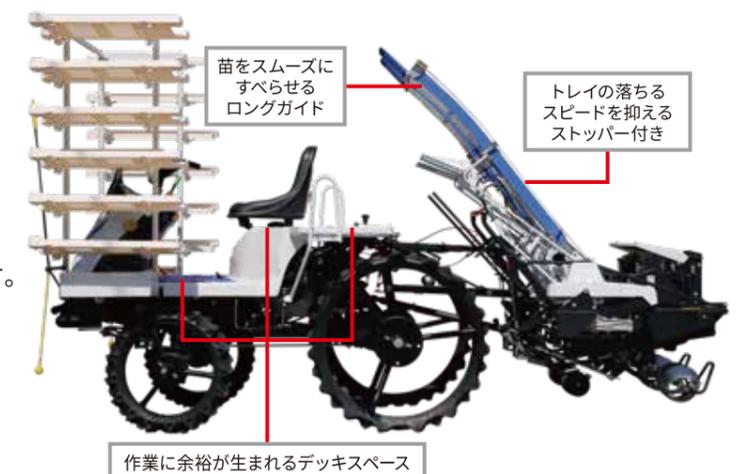
苗補給が簡単に、  
トレイ送しもスムーズに。

## ■ フラット&ワイドデッキ

足場が広く、余裕をもって苗つぎが行えます。

## ■ ロングガイド

トレイをすべらせるだけで簡単に苗を補給できます。



苗をスムーズにすべらせるロングガイド

トレイの落ちるスピードを抑えるストッパー付き

作業に余裕が生まれるデッキスペース

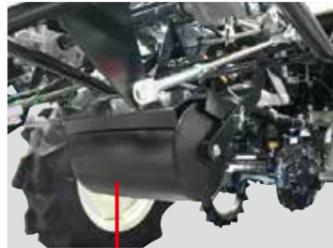
# 高精度植付けで、高品質な野菜づくり。

うね・溝どちらの凹凸にもスムーズに追従。

## 自動植深さ制御 (ピッチングセンサ機構)

大きなうね溝の凹凸やうね高さの変化に追従し、植付深さを一定に保ちます。また、泥抜き穴やバネの追加でうねへの適応性を向上しています。

2つの追従機能が同時に、左右独立して働くことにより、植付深さを常に精度良く一定に保つことができます。



ピッチングセンサ機構



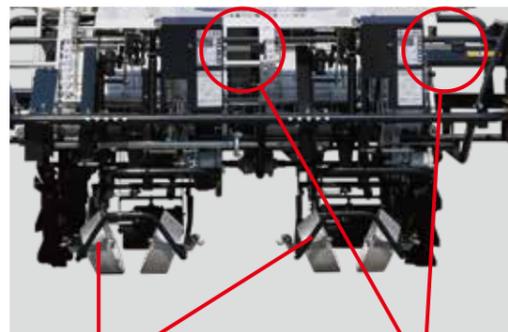
左右独立植付フローティング機構

## 左右独立植付フローティング機構

小さなうね高さの変化や左右で違ううね高さに追従し、植付深さを一定に保ちます。

ローラ荷重は土の状態に合わせて3段階に調節できます。  
(センサーローラへの土の付着を防止するスクレーパ付き。)

移植後の活着が良い。



覆土ローラ

覆土圧調節レバー

## アルミ製覆土ローラ

- 植付けと同時に苗の株元を鎮圧。苗をまっすぐ植えるとともに、根鉢と土を密着させることで、活着が良くなり、初期生育の安定が図れます。
- 土離れが良く耐久性に優れた「アルミ製ローラ」です。
- ローラの間隔は土壌条件に応じて3段階に調節できます。
- 覆土ローラの圧力は、ほ場条件に合わせてレバー1本で5段階×2(バネの掛替え)に調節できます。

従来通りの機体後方のレバーに加え、運転席側にもレバーを設け、機体から下りずに覆土圧調整が可能です。



覆土圧調節レバー(運転席側)

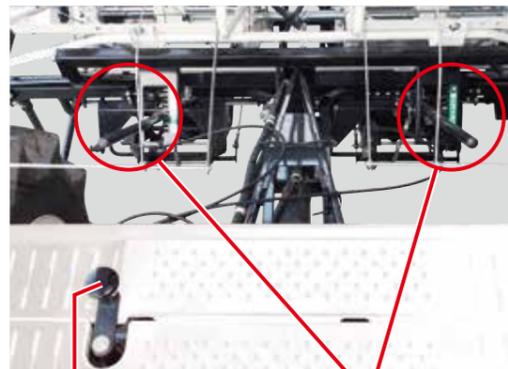


覆土圧調節レバー

作物に応じて株間・植付深さ調節が簡単にできる。

## 株間調節ハンドル&植付深さ調節レバー

作物に応じた株間の選択や、ほ場の条件に応じた植付深さが、運転席から降りずに簡単に調節できます。

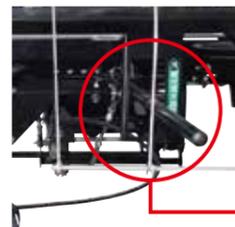


株間調節ハンドル

植付深さ調節レバー

260~800mmまで、無段階に調節できます。

植付深さを10段階に調節できます。



植付深さ調節レバー

植付株間	PVDR200 (RS)	260~800mm
植付深さ	10段階×ピン2段(ワンレバー)	

# 日常点検はしっかり、簡単。

## 1 バッテリーの点検

ボンネットが取り外せ、バッテリーのチェックが簡単です。



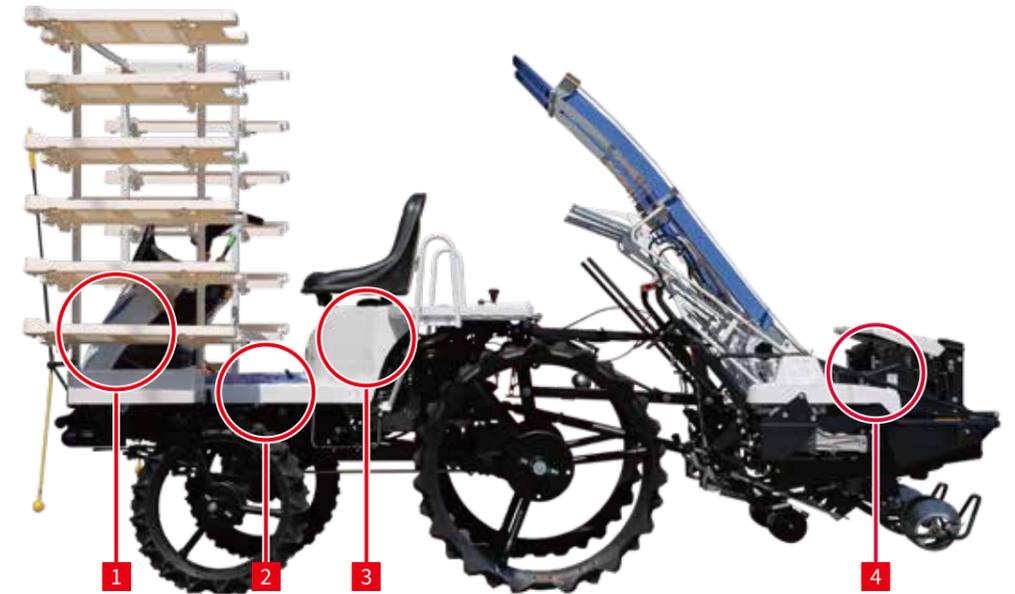
## 2 フロア下部点検部

ミッションオイルの点検や操作ロッドの調節が、ステップを外さずに行えます。



## 3 エンジン点検窓

座席下のステップが取り外せ、エアクリナーやエンジンオイルの点検が容易にできます。



## 4 植付部位相調節機構

長期間使用によるチェーンの伸びで発生する、左右の苗取爪の位相のずれをチェーンを交換することなく調節できる機構です。修理時間の短縮やランニングコストが低減できます。



位相調節用のフランジ

いたずらや盗難を防止。

## 個別キー

1台ごとに異なるキーを使用しているので、安心です。



## 充実のオプション。

名称(コードNo.)	備考
① かん水装置 (7035-048-0000-0)	20Lポリタンク×2個付き。(インプル扱い)
② 20kgウエイト (Y1TS-100-010-01)	4個まで搭載できます。(部品事業部扱い)
③ バックミラー (Y7C1-310-991-00)	(部品事業部扱い)
④ ホイールKIT (Y7C1-310-992-00)	標準仕様の後輪タイヤをRS車輪に変更するキット。(部品事業部扱い)
⑤ 追加予備苗台 (YYTY-NPW-200R-0)	予備苗台12枚を追加できます。(インプル扱い)

### ①かん水装置



### ④ホイールKIT (PF2R,RS)

